

グローバルCOEプログラム
境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界

2009年度 後期
道民カレッジ連携講座

土曜市民セミナー 共催



北海道大学総合博物館

北海道大学スラブ研究センター

講師

工藤 信彦

(社団法人全国樺太連盟理事)

樺太とは何だったのだろうか。
樺太の悲劇は、一冊の通史も無い
ことだけでなく、島で生まれ
育った私にさえも樺太が見えな
いということである。戦後六十
余年が経つ現在、樺太をトータ
ルに語り得る人は、もう何処に
も居ない。知らない人は、故郷と
しての樺太を語ることは無い。
故郷は知識ではない。一人一人の
記憶が樺太。浮遊とは記憶のこ
とである。波が海表情でしか
ないように、記憶だけが、北限の
岸辺なき海に漂っている。



シリーズ「知られざる北の国境」第4回

日時

2月6日(土)

午後1時30分より

入場無料 | 事前申込不要 | 定員60名

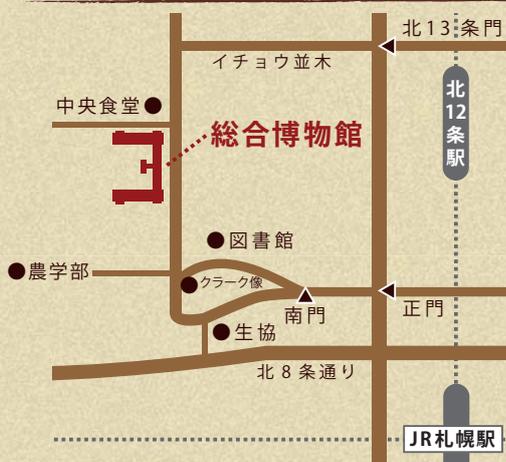
*定員を超えますと立ち見となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

題字：工藤信彦

会場

北海道大学総合博物館 1階
「知の交流」コーナー

アクセスマップ



博物館からのお知らせ

12月18日より、総合博物館2階に日露国境標石
をはじめとする北の境界にかかわる資料を展示
いたします。どうぞお立ち寄りください。



本セミナーに関するお問い合わせ先



北海道大学スラブ研究センター「境界研究の拠点形成」事務局
tel: 011-706-3314 mail: gcoe-jimu@slav.hokudai.ac.jp
http://borderstudies.jp

北海道大学総合博物館

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 tel.011-706-2658/3607
http://www.museum.hokudai.ac.jp/activity/seminar



THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM